



## 卒業生寄贈資料の紹介

名医大産婆科 昭和12年3月卒業  
小川富美さま

助産師学校7回生の鈴木富佐子さまから、実母小川富美さまの助産婦学校時代のノートや参考書等が寄付されました。とても貴重な内容にてその一部をここに紹介させていただきました。昨年、小木曾みよ子先生が多くの助産学関係の資料を名古屋大学資料室に寄付され、現在整理中につき、小川富美さんの資料も追加寄付させていただきました。詳細をお知りになりたい方は今後名古屋大資料室にお問い合わせください。 2021.12月吉日 名古屋大学助産同窓会役員一同

1

## 卒業アルバムより

福住信子先生  
(産科婦長)



2



教科書 等

『助産學研究』 表紙

裏表紙

『近世助産學』 酒井春吉編集

助産學研究

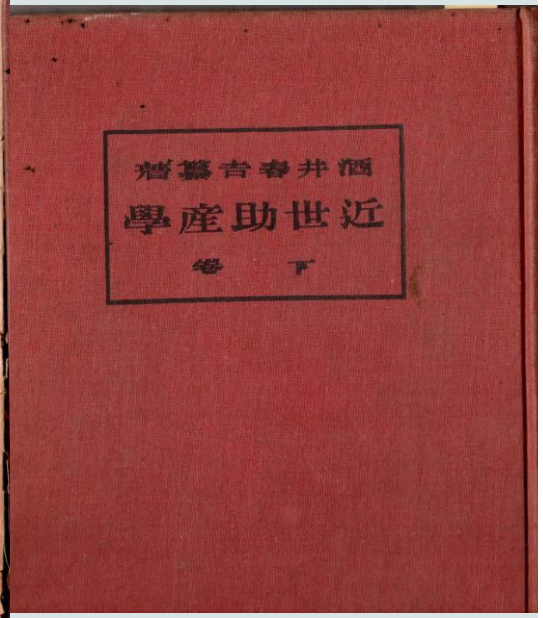
清原登小博士醫學 監修  
程 藤工士學醫 監編  
號九第 卷一十第

ATONIN  
Saba Agri  
CHEMICALS LTD  
SHARAH

弛緩性子宮出血  
微弱陣痛に特効ある  
アトニン

ATONIN  
L. V. S. CHEMICALS LTD, SHARAH

助産研  
JOMAN, K.



3

テキスト 『近世助産學』 の一部

第七編 異常胎位及分娩法

三 妊婦は横膈膜の上昇に由り、呼吸促進、胸内苦悶を感じ、身體の運用困難になり分娩も正規の時期に達すること少なしとす。

四 子宮腔過度に擴張するが爲め、胎児は自由に移動し、妊娠末期に至るも先産部骨盤入口に固定し難く爲めに異常の胎位或は胎勢或は胎帯を來し、或は種々なる胎形を發することあり。

第四編 羊水量

五 子宮の擴張過度なるが爲め、其筋力衰へ分娩の際陣痛微弱となり、開口期並に産出時延長して産後胎児を危険ならしむ。

六 多量の羊水は一時に排出するを以て、往々膀胱或は四肢の脱出を來すことあり。

七 處置 直ちに醫師の診察を請はしむべし、適當なる處置により危険なる障害を防ぐを得べし、又本症は常に産後に腹帯を施し、且つ身體の安静を守らしむるを良しとす。

羊水量の徴  
如何

分娩時の處置に就ては異常分娩の條に詳なり。

第四 羊水量

羊水過多とは羊水著しく少量にして、生理的の量に達せざるものを云ふ。

一 羊水少なき爲め、胎児は其息すべし難く危険を來し、身體の發育を障害し、下肢の彎曲又は扁平足等を來す。

二 妊娠初期に於て羊水過多なる時は、胎児は羊膜に密着して遂に窒息し、後日本羊水増加に及び、産着部牽引せられ、絲狀物を形成す之れを羊膜絲と云ふ。モノナルト云々

三 如此羊膜絲を形成する時は、其影響として腹唇、四肢の缺損等の胎形を生じ、或は羊膜絲が臍帯に纏繞して血行を障害す。

四 分娩時に於ては胎胞の形成不便なるを以て開口期長く、陣痛に甚だしき疼痛を伴ひ、胎盤早期剝離等を來す。

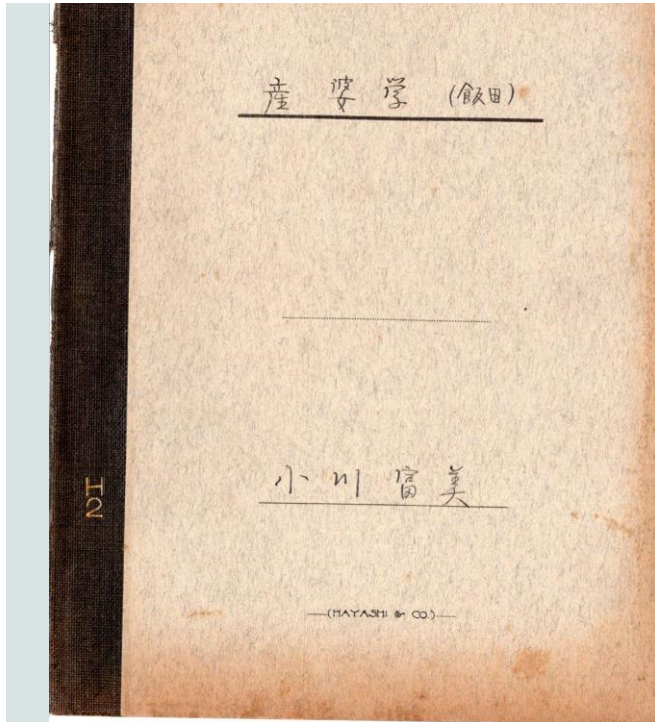
五 其他羊水の一般生理的效用を失ひ、妊娠中腹部の衝突・打撲等により、胎児は種々の損傷を蒙り易し。

處置 醫治に據るの外なし。

第二編 胎の異常

4





### 産婆規則

産婆規則七條

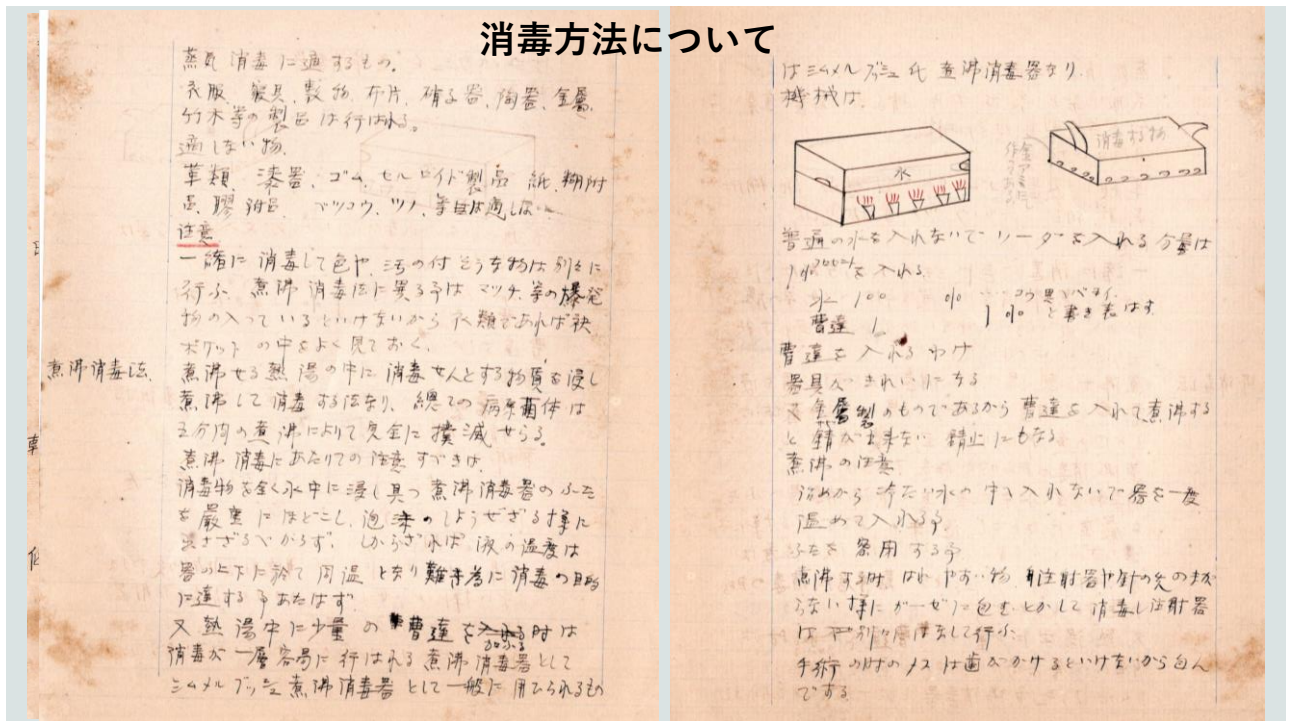
産婆規則八條

異常なる妊娠、分娩、産褥に付て産婆の責  
 任異常なる妊娠、分娩及産褥の取扱は  
 してて醫者の職務に屬し之れ産婆の  
 関與せしは現行法規の禁するところ  
 産婆は妊婦、産婦又は胎兒、生乳に異常あり  
 ちるときは醫師の診察を請はしむべし、自ら其  
 處置をせずを得ず、但し臨時救急の手續  
 この限りにあらず。

産婆は産婦、妊婦、褥婦又は胎兒、新生兒に付  
 外科、手術を行は産科器具を用い藥品を投與し  
 又は之を指示せざることを得ず、但し消毒を  
 請帯せり、瀉腸を施す類は此の限りにあらず  
 又は之をせしむるに於ては此の場合の消毒を行  
 ふべし。

2. 妊婦、産婦、褥婦の異常はよるだけ早く  
 異常ある時は速かに醫師に知らせ診察を  
 又は分娩後に於て異常が起る時は速に  
 又は又は異常のたふしある時も同様  
 醫者に相談する。或る醫者に於て異常來  
 したる時は心掛の時には和氣と何人か  
 醫者に相談に與るも異常ある時は産婦の  
 幸福の爲に産婆としてよる限りの處置を取  
 醫者の請の違ひ時には之を請ふべし。

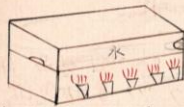
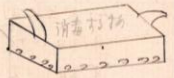
5



### 消毒方法について

蒸気消毒に通ずもの。  
 衣服、靴、敷物、布巾、硝子器、陶器、金属、  
 竹木等の製品は行はぬ。  
 適し物。  
 革類、漆器、ゴム、セルロイド製品、紙、糊付  
 品、膠、ワックス、ツナ、等白く適しぬ。

注意  
 一 蒸気消毒して色や、汚付物等は別に  
 行ふ。煮沸消毒に異なりは、ワックスの  
 物の入っているものは、靴類は、靴  
 ボットの中をよく見ておく。  
 煮沸せる熱湯の中に消毒せんとす物質を浸し  
 煮沸して消毒せしむべし。總ての病原菌は  
 五分間の煮沸によりて完全に撲滅せらる。  
 煮沸消毒にあたりての注意すべきは、  
 消毒物を全く水中に浸し、煮沸消毒器の  
 水を最上にして、泡の湧き上がる手に  
 浸せざるべからず。此の時、水の温度は  
 器の上と下と於て同温となり難き爲に消毒の目的  
 に達せざるべし。  
 又熱湯中に少量の苛性ソーダを  
 消毒が一層容易に行はる。煮沸消毒器として  
 シムメル等の煮沸消毒器として一般に用ゐらるる

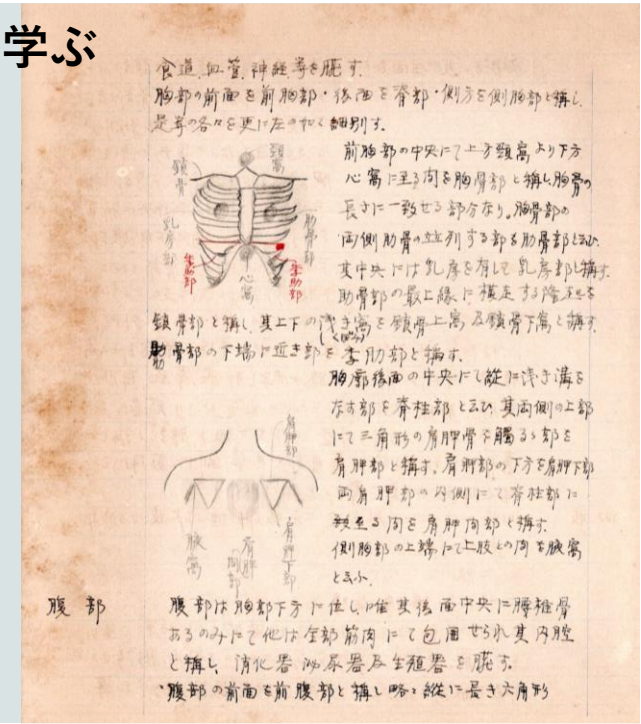
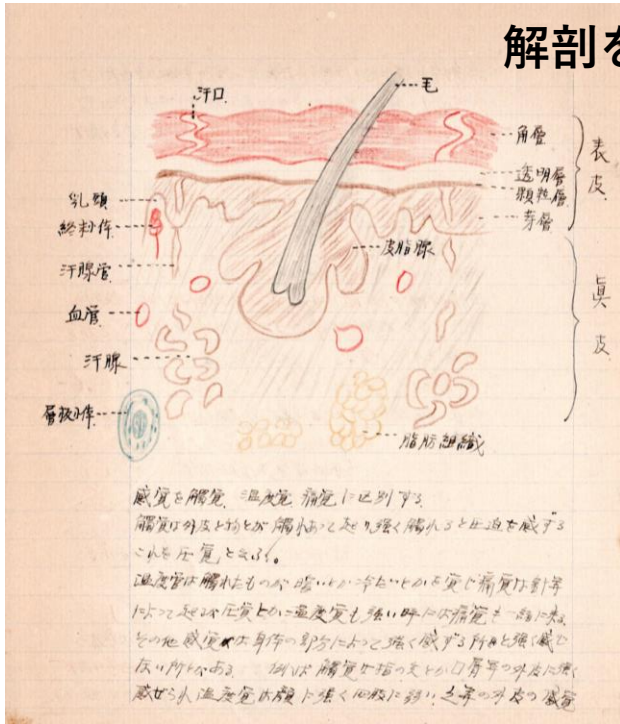
シムメル等の煮沸消毒器は、  
 機械は、  



普通の水を入水ないで、リーターを入る分量は  
 100ccを入る。  
 水 100 cc 100 cc 100 cc 100 cc  
 普通に入水ないで、  
 器具を入るに、  
 又、管のついでから普通に入水して煮沸せし  
 と、管のついでから、停止せしむ。  
 煮沸の注意  
 湯から沸き出した水を入水ないで、器を一度  
 温めて入る。  
 水を器用する。  
 煮沸せしむ。此の時、注射器や針の類  
 はない、注射器は、包むて、消毒し、注射器  
 は、別に消毒し、行ふ。  
 手術の時のメスは、直ぐに消毒し、行ふ。  
 手術の時のメスは、直ぐに消毒し、行ふ。

6



# 解剖を学ぶ



7

# 病床日記

○原○子 殿 34歳

全身に紅腫あり、  
 赤養作略共ニ良好ナリシ婦人ニシテ、腹部の形状  
 種内形も呈し、筋高、形状平坦ナリ、子宮底、  
 位置ハ剣下一横指ヲ距る線ヲ明ナリ、乳頭部  
 乳暈、着色ハ稍、著明ニシテ、モントゴリ、代線  
 不明ナリ、此ニヨリ、子宮圧去ス  
 全身に紅腫あり、  
 外診的見  
 傾向、位、位、方、ハ、才、ニ、才、テ、骨盤位ニ於テハ  
 才、一、才、ニ、才、心音、器、和、節、位、ハ、石、腹、部、深、上、痛、  
 左、上、才、ニ、才、聽、取、三、尺、頭、固、定、セ、リ、  
 骨盤計測  
 身長 一五二種 寸量 七二種  
 胸高迄 二二種 子宮底迄 三二種  
 臍用 三三三 腰用 一一二種  
 膝用 九三三 膝下 二二種  
 膝下 二六五種 大転子 三三三  
 斜徑 二二種  
 才見 介使 経道  
 陣痛開始 昭和七年五月廿五午後六時頃  
 外陰部消毒 五月廿六午前九時三十分  
 破水 三七分  
 胎動 三十七分  
 娩去 二十八分  
 直後子宮底 剣下三横指  
 長眼 午前九時三十分  
 精神不安 三十分  
 精神不安 三十分

入院  
 昭和七年五月廿五分 午前七時五分  
 市内 市  
 職業 官吏  
 祖父 祖母 三健在  
 父母 母 一健在  
 兄弟 四人  
 夫 健在  
 結婚 三三又十二月  
 初産 十八日 十二月  
 既産症 三日 經道  
 既往症 三才、時、脚、及、痛、山  
 最終月経 昭和七年七月十日より一週  
 子宮底 昭和七年四月二十七日  
 胎動自覚期 五月頃  
 前回妊娠経過 異常ナシ  
 分娩経過 異常ナシ  
 全身に紅腫あり、  
 双胎

8

才二児  
 津浦開始 昭和二年 五月五日午後六時頃  
 外陰部腫毒 " " 五月六日午前九時二十四分  
 破水(人工) " " " 三十一分  
 排胎 " " " 三十四分  
 分娩 " " " 三十七分  
 娩去 " " " 三十七分  
 直後子宮底 膈高  
 巨大眼 " " " 四十分  
 胎頭破裂 " " " 四十三分  
 胎切斷 " " " 三十八分  
 後産期津浦開始 " " " 四十二分  
 胎盤娩出 " " " 四十七分  
 直後子宮底 膈下一横指  
 才一児  
 分娩開始 昭和二年 五月五日午後六時頃  
 外陰部腫毒 " " " 五月六日午前九時二十四分  
 破水(人工) " " " 三十一分  
 排胎 " " " 三十四分  
 分娩 " " " 三十七分  
 娩去 " " " 三十七分  
 直後子宮底 膈高  
 巨大眼 " " " 四十分  
 胎頭破裂 " " " 四十三分  
 胎切斷 " " " 三十八分  
 後産期津浦開始 " " " 四十二分  
 胎盤娩出 " " " 四十七分  
 直後子宮底 膈下一横指  
 才一児  
 分娩開始 昭和二年 五月五日午後六時頃  
 外陰部腫毒 " " " 五月六日午前九時二十四分  
 破水(人工) " " " 三十一分  
 排胎 " " " 三十四分  
 分娩 " " " 三十七分  
 娩去 " " " 三十七分  
 直後子宮底 膈高  
 巨大眼 " " " 四十分  
 胎頭破裂 " " " 四十三分  
 胎切斷 " " " 三十八分  
 後産期津浦開始 " " " 四十二分  
 胎盤娩出 " " " 四十七分  
 直後子宮底 膈下一横指

才二児  
 胎盤計測  
 身長 四八五種 体重 三二〇瓦  
 肩幅 一三五種 肩圍 三三五種  
 腰巾 七五種 小横径 七種  
 大横径 一〇種 小斜径 九種  
 前後径 一〇五種 大斜径 三三五種  
 小斜径 三二種  
 才一児  
 胎盤計測  
 胎盤全長 四九種 胎盤釘長 四六種  
 胎盤幅 五七種 胎盤釘幅 五七種  
 胎盤釘幅 五七種 胎盤釘幅 五七種  
 胎盤釘幅 五七種 胎盤釘幅 五七種

才二児  
 胎盤計測  
 胎盤全長 四七種 胎盤釘長 四六種  
 胎盤幅 五七種 胎盤釘幅 五七種  
 胎盤釘幅 五七種 胎盤釘幅 五七種  
 胎盤釘幅 五七種 胎盤釘幅 五七種

才二児  
 胎盤計測  
 胎盤全長 四七種 胎盤釘長 四六種  
 胎盤幅 五七種 胎盤釘幅 五七種  
 胎盤釘幅 五七種 胎盤釘幅 五七種  
 胎盤釘幅 五七種 胎盤釘幅 五七種





大先輩の小川さんの学生時代に触れ、実に懸命に学ばれた様子を肌で感じることができました。こういうたくましい先輩たちに支えられて今の助産学があること、さらに発展させて次世代につなげたいものです。

皆様、まだまだコロナ禍の大変な日々をお過ごしのことと思います。今後、総会・講演会、ホームページ等々でつながっていきますように、どうぞお元気でご活躍ください。

名古屋大学助産学  
同窓会役員一同